

第5回リモートセンシングシンポジウムのお知らせ

主催 (社)計測自動制御学会 企画：リモートセンシング部会

期日 昭和54年11月27日(火), 28日(木)

場所 機械振興会館(東京都港区芝公園 3-5-8)

講演申込締切 昭和54年8月31日(金)

講演申込方法 A4版の透明用紙に 1) 題目 2) 登壇者・連名者の氏名, 所属および所属学協会名(登壇者は生年月日) 3) 連絡先 4) 400字以内の概要 5) 希望するセッション名(下記参照, 複数可) 6) 原稿枚数(2ページか4ページ)の指定を記入のうえお申し込みください。申込者には指定原稿用紙をお送りします。

予定されるセッション:

計測システム: センサ(可視光, 近赤外線, 中間赤外線, マイクロ波, レーザー), プラットフォーム
記録方式(PCM, FM, 写真など), 計測機器とその校正など

データの収集および補正: 通信, 伝送, 前処理(ひずみ補正, 大気効果補正など), グランドトルースなど

データ解析システムと手法: クラスタリング, テクスチャアナリシス, マッピング, 光学処理など

応用: 環境, 都市, 資源, 地質, 農林, 水産, 海洋, 河川, 火山, 地熱, 気象, 防災, 測量など

講演の予稿集 講演時間は1件あたり15分ないし20分とし, 予稿集はオフセット印刷で1論文1,480字詰原稿用紙2ページまたは4ページとなります。

講演原稿提出締切 昭和54年10月15日(月)

参加費(予稿集代含) 本会および協賛学協会会員 5,500円, 学生 3,500円, 一般 6,500円

講演申込先 〒105 東京都港区虎ノ門1-15-5 琴平アネックス内 (社)計測自動制御学会リモートセンシングシンポジウム係 電話(03)501-7671

月例会「大気数値シミュレーション」新設のお知らせ

近年の電子計算機の発達は目ざましいものがあり, 海洋を含む大気科学の諸分野にわたって数値シミュレーションや, それに関連した解析を通じて, その力学的・物理的理解が深められております。1950年代の数値予報の開発期に結成された数値予報研究グループは, その後も研究交流や情報の交換を在京機関を中心に行なってきました。しかしながら, 今や, 海洋, 境界層, 対流圏, 成層圏, 中間圏にわたって密接な関連を持つ大気の力学的・物理的把握が, 数値モデルの質的発展に不可欠となっ

ています。そこで, 上の趣旨を実現する為に, 標記の月例会を学会の中に設けることになりました。運営にあたっては, 広く会員の声を反映させ工夫していきたいと思っております。

第1回の月例会は, 「境界層」に関連したテーマを取り上げ, 本年9月上旬に気象庁において開催する予定です。日時, プログラムについては本誌7月号でお知らせします。

代表世話人 井沢龍夫(気象研究所)